

# MIS発表演題のテーマ分析

小野寺夏生（情報科学技術協会）  
城山泰彦（順天堂大学図書館）

2011. 7.23

第28回医学情報サービス研究大会

# 発表の目的

- 医学情報サービス研究大会(MIS)では、前回のいわき大会(MIS27)までに、**611件の一般発表(口演発表+ポスター発表)**がなされている。  
(抄録集に記録のない第1回のポスター発表8件を除く。)
  - これらについて、抄録集を見て**テーマ分類**を行い、**MISではどのような発表がなされてきたか概観**。
  - また、発表者の**職種(勤務する職場の種別)**による**発表テーマの特徴**を分析。
- \* 医学情報サービス研究大会(MIS)の名称になったのは第10回からで、第9回までは「図書館情報サービス研究大会」であったが、便宜上ここでは一貫してMISと呼ぶ。

# MISの発表テーマに関するこれまでの報告

1. 岩本博. **Learning from Each Other since 1984  
その活動の軌跡**. 第9回図書館情報サービス  
研究大会, 京都, 1992.
2. 城山泰彦. **医学情報サービス研究大会抄録集  
の分析**. 第13回医学情報サービス研究大会,  
名古屋, 1996.
3. 西村飛俊. **演題のテキストマイニング分析から  
見た医学情報サービス研究大会**. 第26回医学  
情報サービス研究大会, 東京白金, 2009.

# 調査・分析方法 (1) テーマ分類

- テーマ分類は、MISの発表の傾向を特徴づけるように独自に設定。
  - 主分類は、A～Eの5つの大項目の下に26項目。
  - これらのうち9項目については、主分類と異なる観点からの細分を行う。
  - 海外を対象としたものまたは国際的視点に立つものは別途集計。
- 各演題に与える分類及び細分は1個のみ。

## 調査・分析方法 (2) 時期と職種

- 27回の大会を**3つの時期**に区分

I 期: MIS01－MIS09

II 期: MIS10－MIS18

III 期: MIS19－MIS27

- 発表者の職種の分類  
次の10種に分類

(01)医学図書館(**医図**)、(02)歯学図書館(**歯図**)、  
(03)看護図書館(**看図**)、(04)薬学図書館(**薬  
図**)、(05)病院図書館(**病図**)、(06)大学・学校図  
書館(**大図・学図**)、(07)公共図書館(**公図**)、  
(08)**教員・学生**、(09)**企業**、(10)**その他**

# テーマ分類 (1) 主分類大項目

## A. 特定の図書館・図書室等の活動

公共図書館を含むがNDL、JST、NIIは含まない。

## B. 情報サービス機関、学協会、ベンダー、その他一般機関の活動

NDL、JST、NIIを含む。

## C. 共同研究・調査、機関間協力

## D. 情報源分析

雑誌等の資料やデータベース等の分析、あるいはそれらを用いた調査研究。

## E. 図書館と情報に関する一般的論考・調査研究

多数の図書館や機関を対象とした調査を含む。

## テーマ分類 (2) 主分類A

### A. 特定の図書館・図書室等の活動

#### A01 運営・管理一般

施設、予算、人員を含む

#### A02 情報源

収集、所蔵資料、資料管理、分類、排架等

#### A03 サービスの計画と実施

#### A04 情報ニーズ、情報利用行動、利用分析

資料購入・中止のための調査はA02

#### A05 利用者教育、研修、広報の計画と実施

#### A06 システムやツールの開発、導入

## テーマ分類 (3) 主分類B & C

### B. 情報サービス機関、学協会、ベンダー、 その他一般機関の活動

B01 (大項目と同じ)

### C. 共同研究・調査、機関間協力

C01 個人参加が主体の任意団体による研究、協力活動等

C02 それ以外の機関による機関間協力活動、ネットワーク作り等



# テーマ分類 (4) 主分類D

## D. 情報源分析

D01 雑誌の出版動向、価格、編集と出版の方針

D02 雑誌記事の情報分析

D03 雑誌の利用分析、評価、コア誌の選定

引用分析を含む

D04 雑誌以外の一次資料

D05 二次資料と文献データベース

収録、内容分析、導入状況、要求と評価等

D06 シソーラス、分類、用語、言語、メタデータ、目録規則等の分析

D07 情報検索とその手法

## テーマ分類 (5) 主分類E

### E. 図書館と情報に関する一般的論考・調査研究

E01 図書館情報学一般

図書館評価を含む

E02 図書館・情報センターのあり方と運営

E03 図書館員、情報専門職

E04 情報源、蔵書構成、資料選定

E05 図書館・情報センターのサービス

E06 情報ニーズ、情報利用行動、情報利用実態

E07 利用者教育、広報

E08 システムやツールの開発と利用

E09 海外の状況分析、日本と海外の比較

海外機関見学報告、学会等参加報告を含む

E10 医学史、医学出版史、医学図書館史

史料の発掘や展示を含む

# テーマ分類 (6) 特定の項目の細分

- サービスの計画・実施に関する項目(A03, B01, E05)

**サービスの種類**(文献デリバリー、検索サービス、患者への情報サービス等)により細分

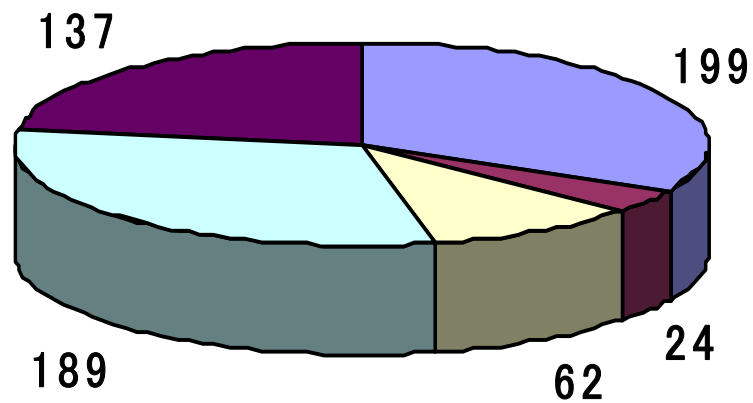
- 情報ニーズ・情報利用分析に関する項目(A04, E06)

**調査方法**(質問紙調査、来館者調査、貸出・複写調査、引用調査等)及び**調査対象**(医療従事者、学生、患者等)により細分

- 情報源分析に関する項目(D01, D02, D03, D04)

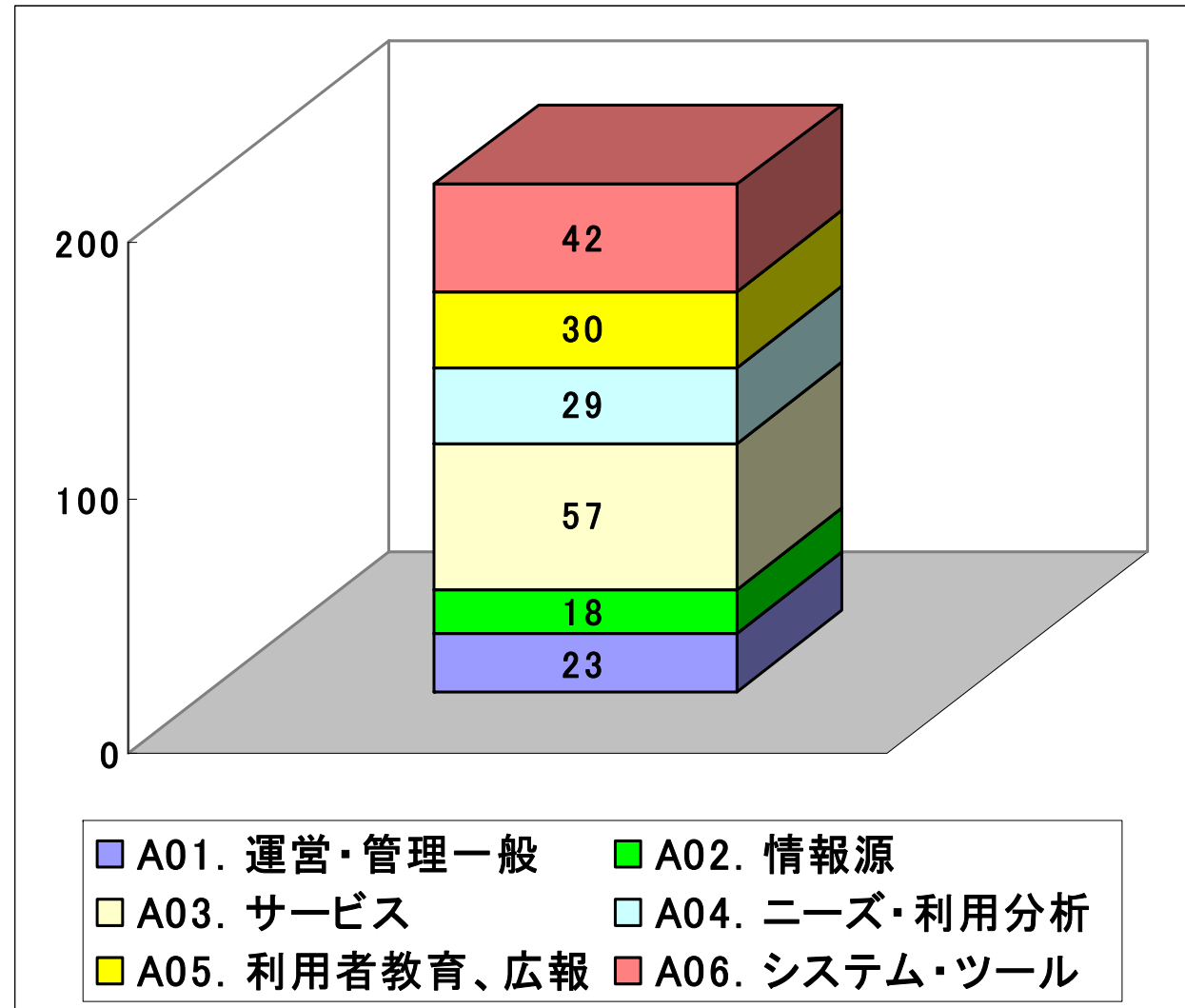
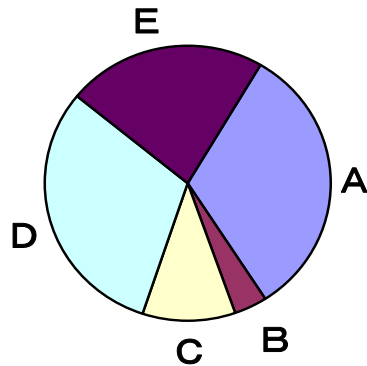
**分析の方法**または**分析の対象**により細分

# テーマ分類の結果 (1) 大項目別

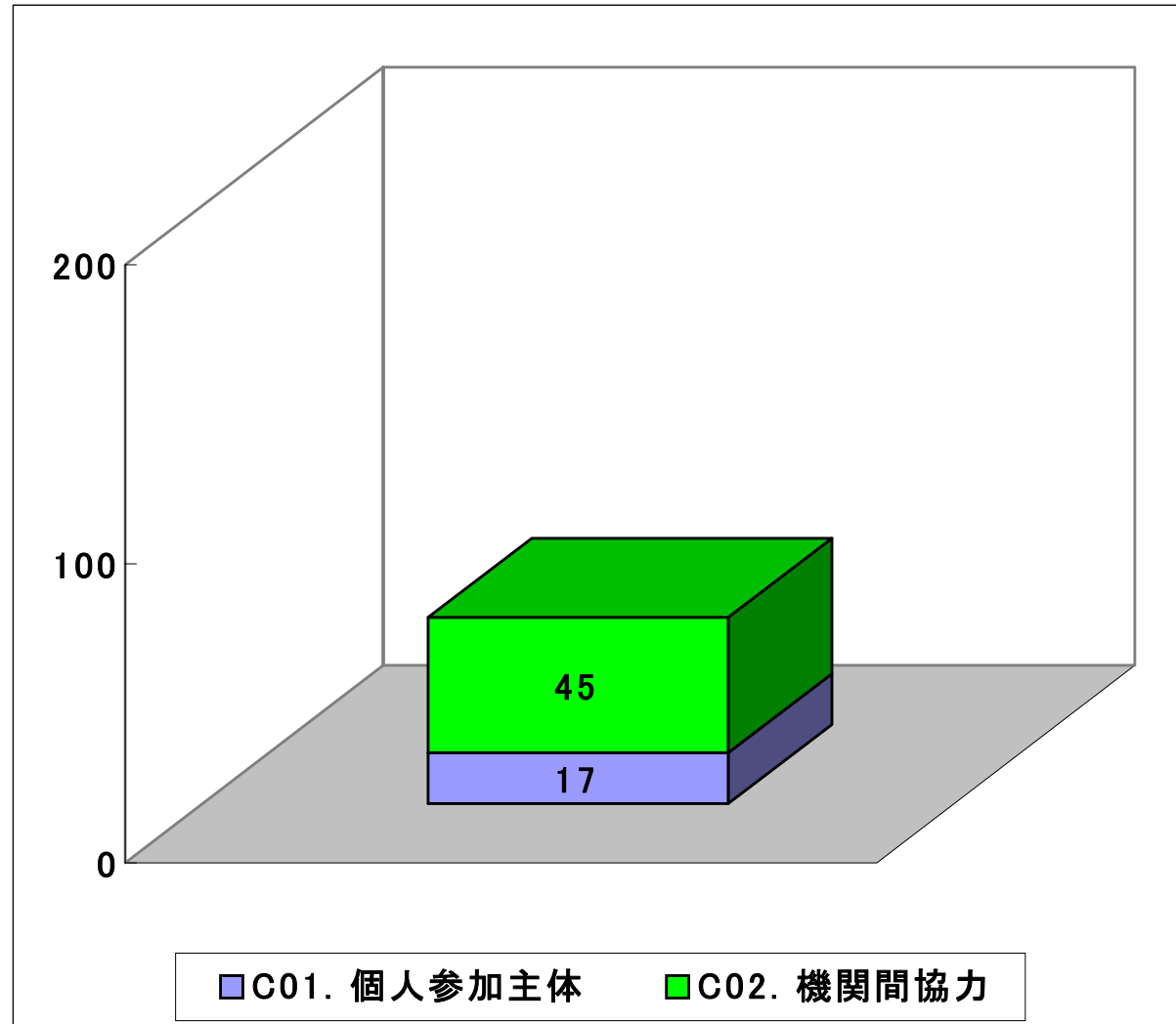
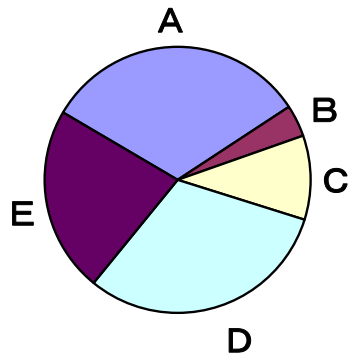


- A. 特定館の活動
- B. 情報サービス機関等の活動
- C. 共同研究、機関間協力
- D. 情報源分析
- E. 一般的研究

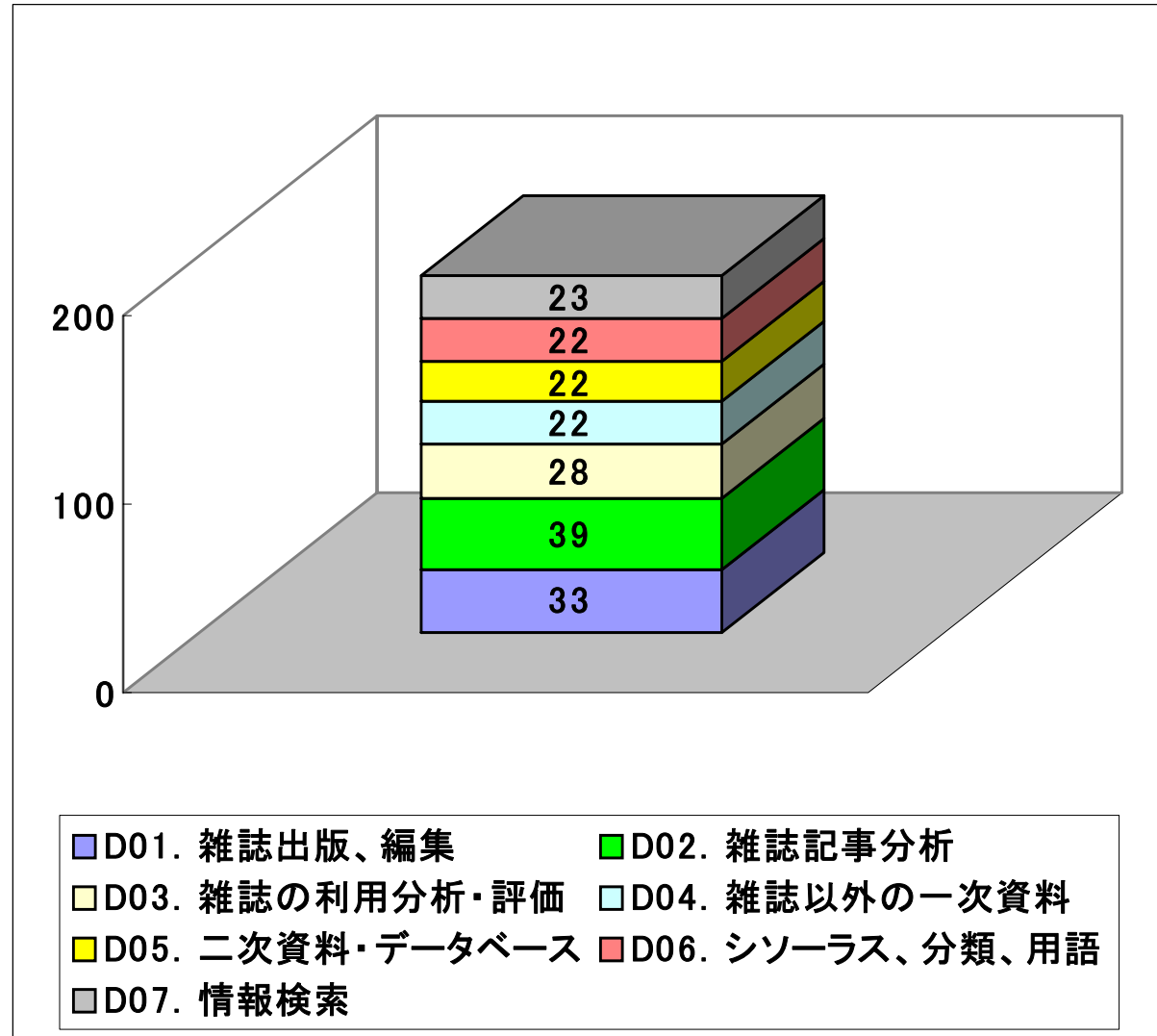
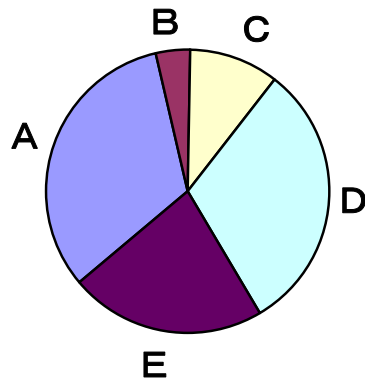
# テーマ分類の結果 (2) Aの内訳



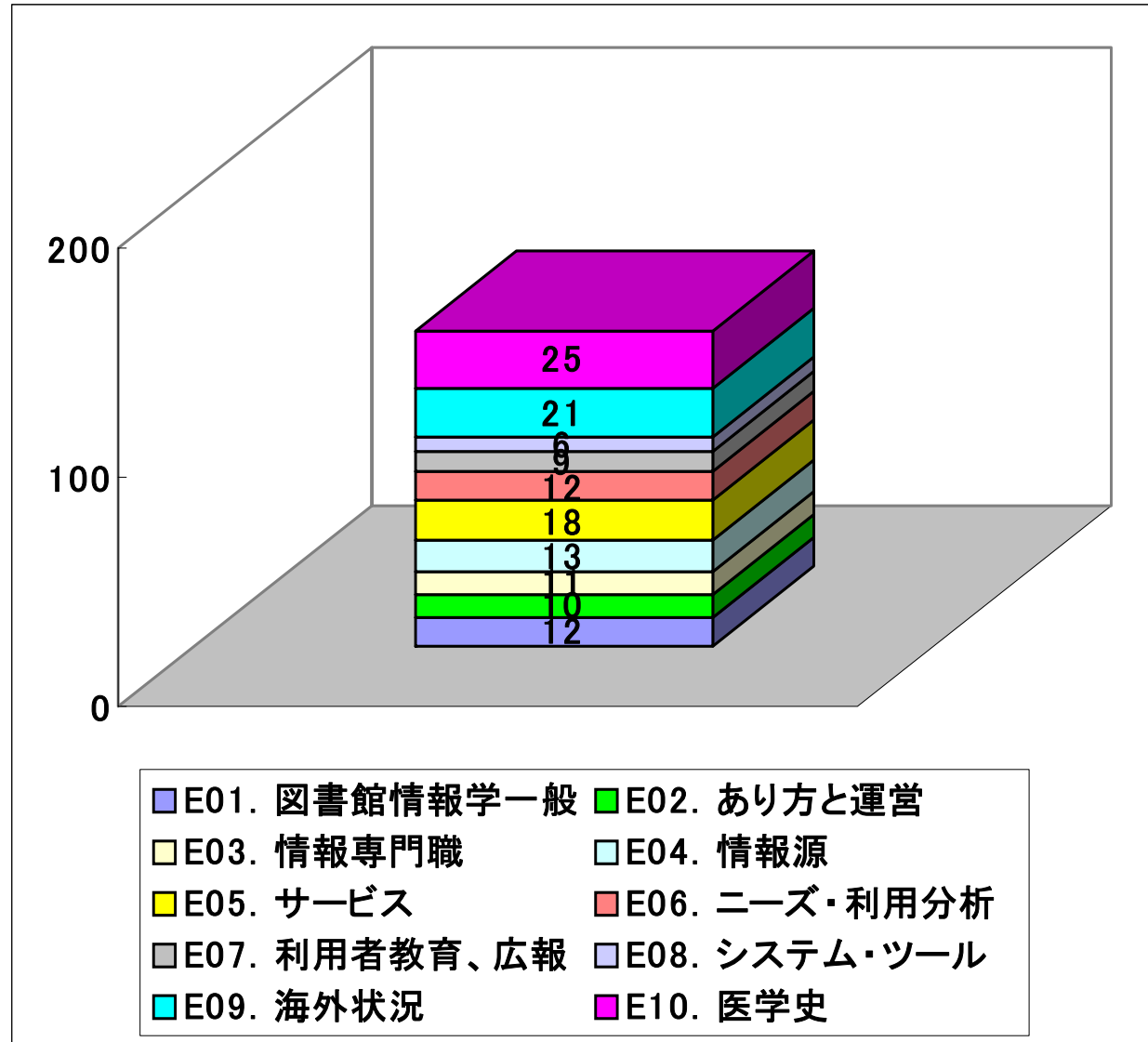
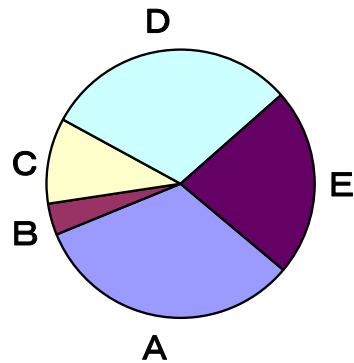
# テーマ分類の結果 (3) Cの内訳



# テーマ分類の結果 (4) Dの内訳



# テーマ分類の結果 (5) Eの内訳



- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| ■ E01. 図書館情報学一般 | ■ E02. あり方と運営   |
| ■ E03. 情報専門職    | ■ E04. 情報源      |
| ■ E05. サービス     | ■ E06. ニーズ・利用分析 |
| ■ E07. 利用者教育、広報 | ■ E08. システム・ツール |
| ■ E09. 海外状況     | ■ E10. 医学史      |



## テーマ分類の結果 (6) 頻出テーマ

全発表611件中、以下7項目でほぼ50%

A03. サービス活動	57 (9.3%)
C02. 機関間協力	45 (7.4%)
A06. システム、ツールの導入・開発	42 (6.9%)
D02. 雑誌記事分析	39 (6.4%)
D01. 雑誌出版、編集	33 (5.4%)
A05. 利用者教育、広報	30 (4.9%)
A04. ニーズ・利用分析	29 (4.7%)
D03. 雑誌の利用分析・評価	28 (4.6%)

# 特定主分類項目の細分 (1)

情報サービスに関する分類(A03+B01の一部+E05)に属する86件中、

- 貸出、複写、ILL 9
- 雑誌、図書、新聞の情報サービス 13
- 検索サービス(CD、オンライン等) 16
- レファレンスサービス、研究支援、授業支援 9
- 患者・児童情報サービス 28

## 特定主分類項目の細分 (2)

情報ニーズ、情報利用分析に関する分類  
(A04+E06)に属する41件を調査方法により細分

- 一般的な利用・ニーズ調査, 利用情報源調査 10
- 図書館利用調査、来館者統計 5
- 貸出、複写、ILL 9
- 所内者による雑誌引用 5
- 電子ジャーナル利用 4
- 臨床現場で発生するニーズ調査 4

## 特定主分類項目の細分 (3)

情報ニーズ、情報利用分析に関する分類  
(A04+E06)に属する41件を調査対象により細分

- 情報利用者一般 12
- 医療従事者 16
- 学生 8
- 患者とその家族 5

## 特定主分類項目の細分 (4)

雑誌出版・編集の分類(D01)に属する33件中

- 雑誌の総合的比較、雑誌統計 4
- 著者、投稿、編集委員会 6
- 記事構成 2
- 抄録 6
- 出版、提供 4
- 電子化 4
- 価格 7

## 特定主分類項目の細分 (5)

雑誌記事分析の分類(D02)に属する39件中

- 特定雑誌の記事分析 6
- 特定テーマの記事分析 20
- EBM 4
- 機関、国の貢献または影響 5

## 特定主分類項目の細分 (6)

雑誌の利用分析・評価の分類(D03)に属する  
28件中

- ミクロ引用分析 8
- マクロ引用分析 3
- 引用の寿命 2
- 引用分析による雑誌評価 6
- 引用分析以外の方法も含めた雑誌評価 9

# 特定主分類項目の細分 (7)

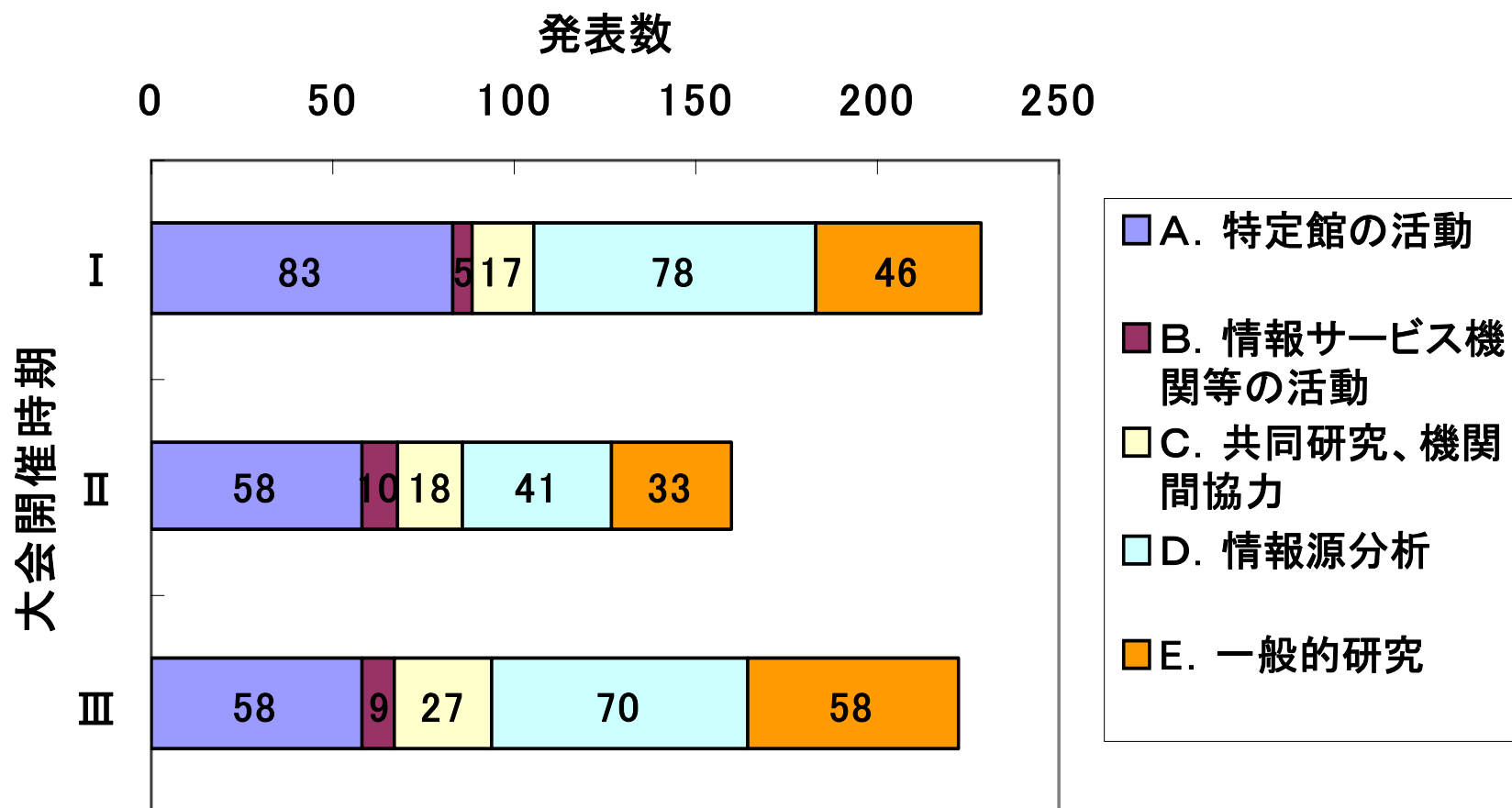
雑誌以外の一次資料の分類(D04)に属する

22件中

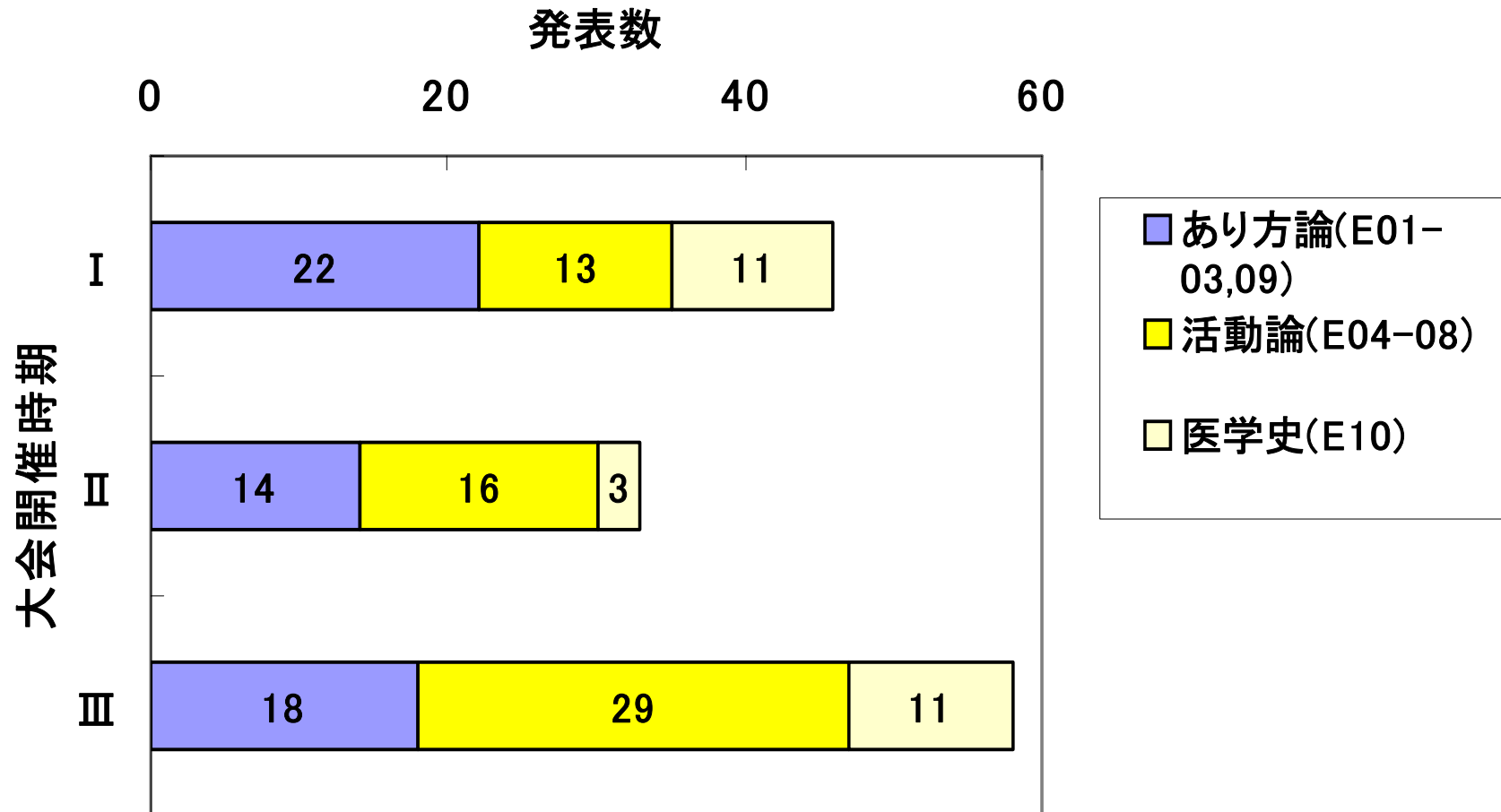
- 学会発表、会議資料 6
- 調査研究報告 2
- 学位論文 2
- 単行書 7
- 新聞 3



# テーマの経時変化 (1) 大項目別

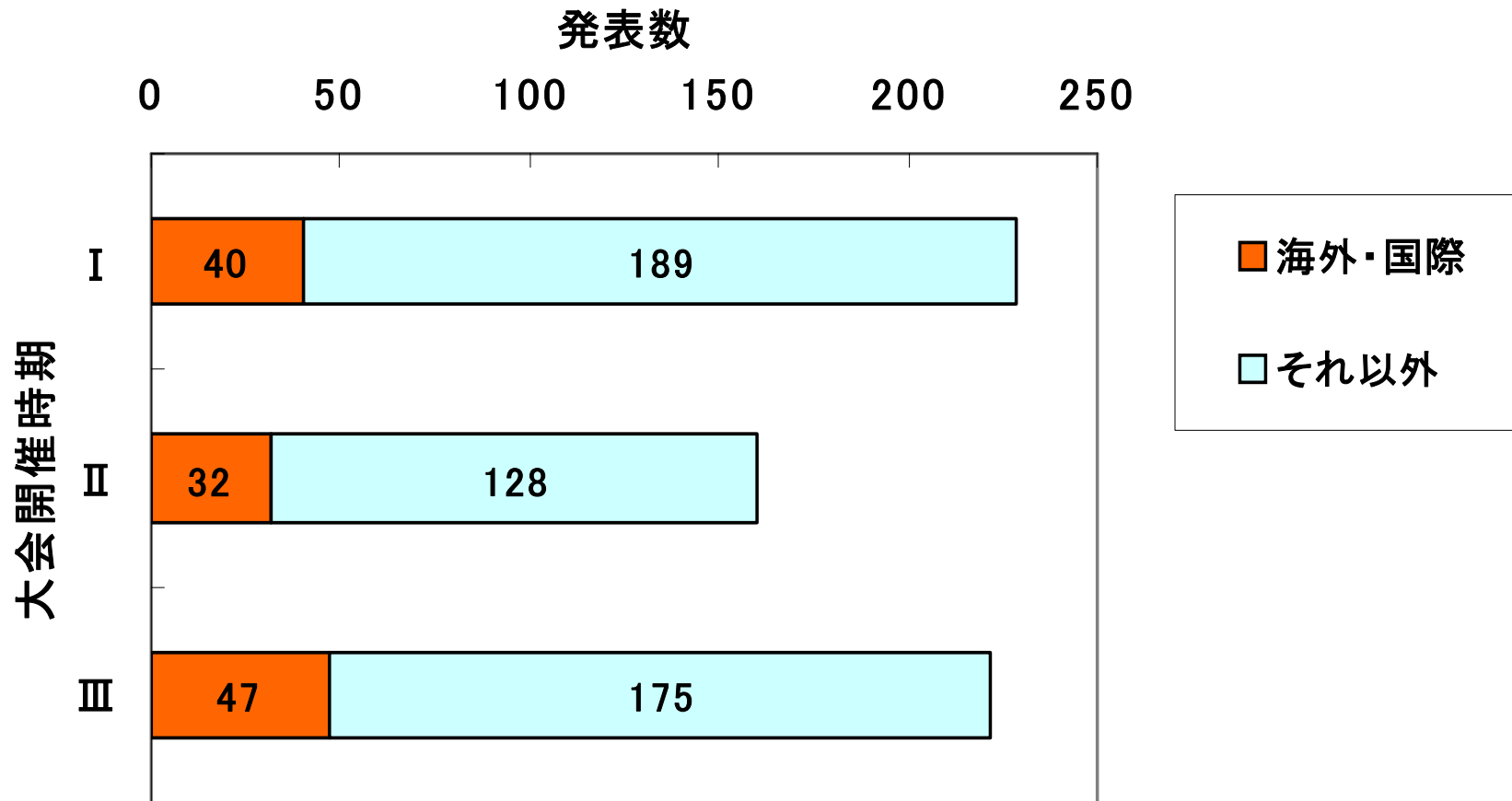


# テーマの経時変化 (2) Eの内訳

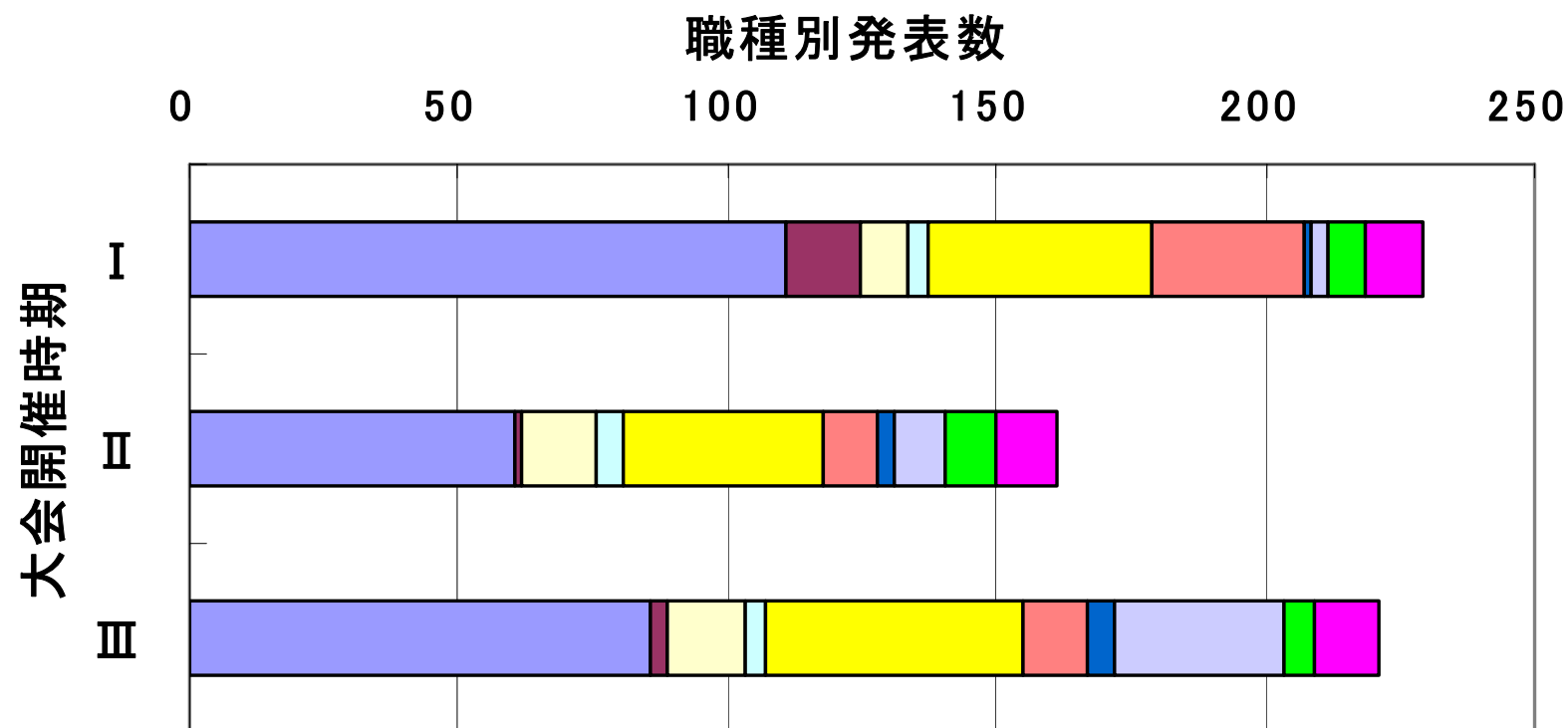


# テーマの経時変化

## (3) 海外・国際を対象とした発表

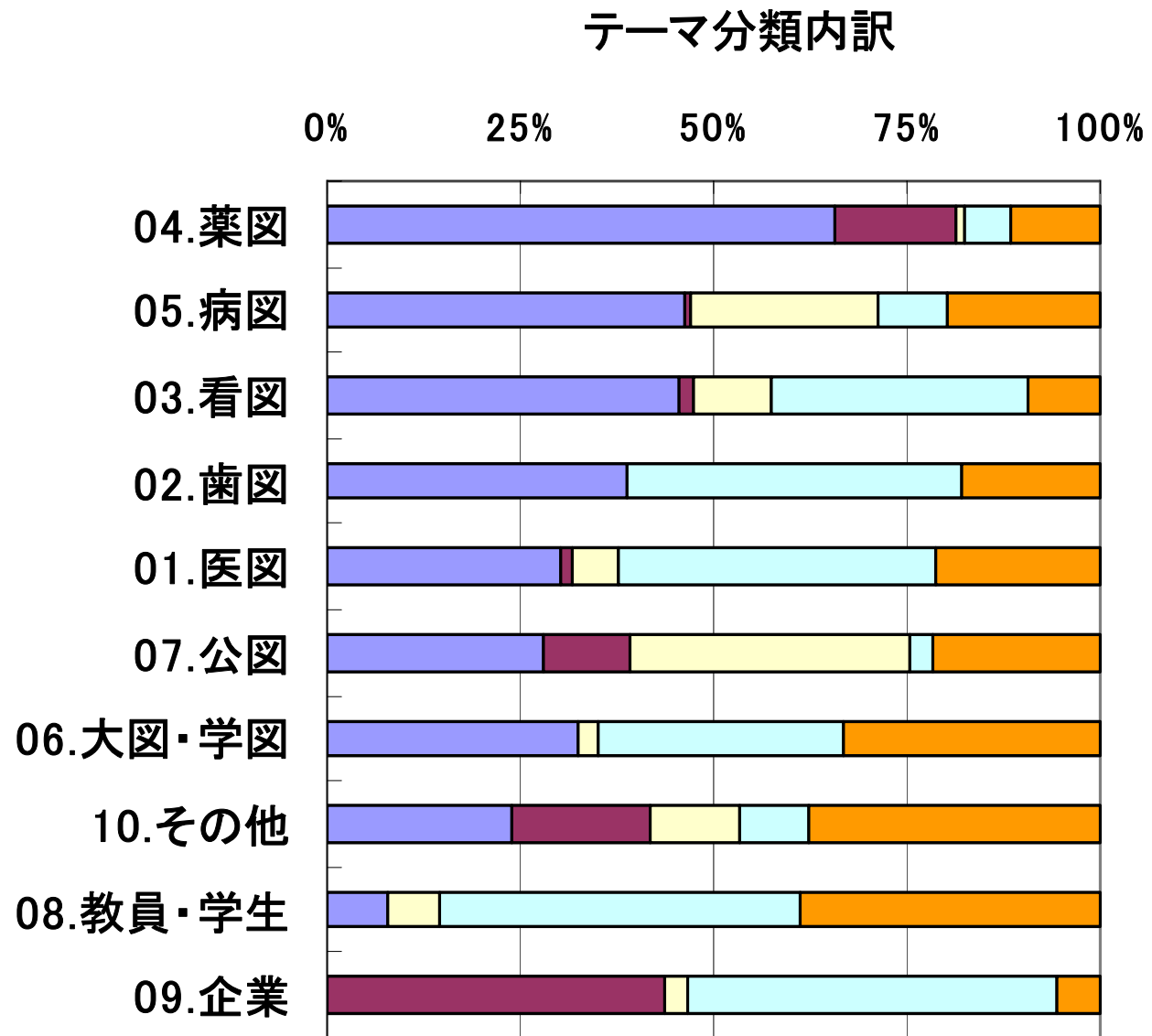


# 各時期の職種別発表数(調節計数法)



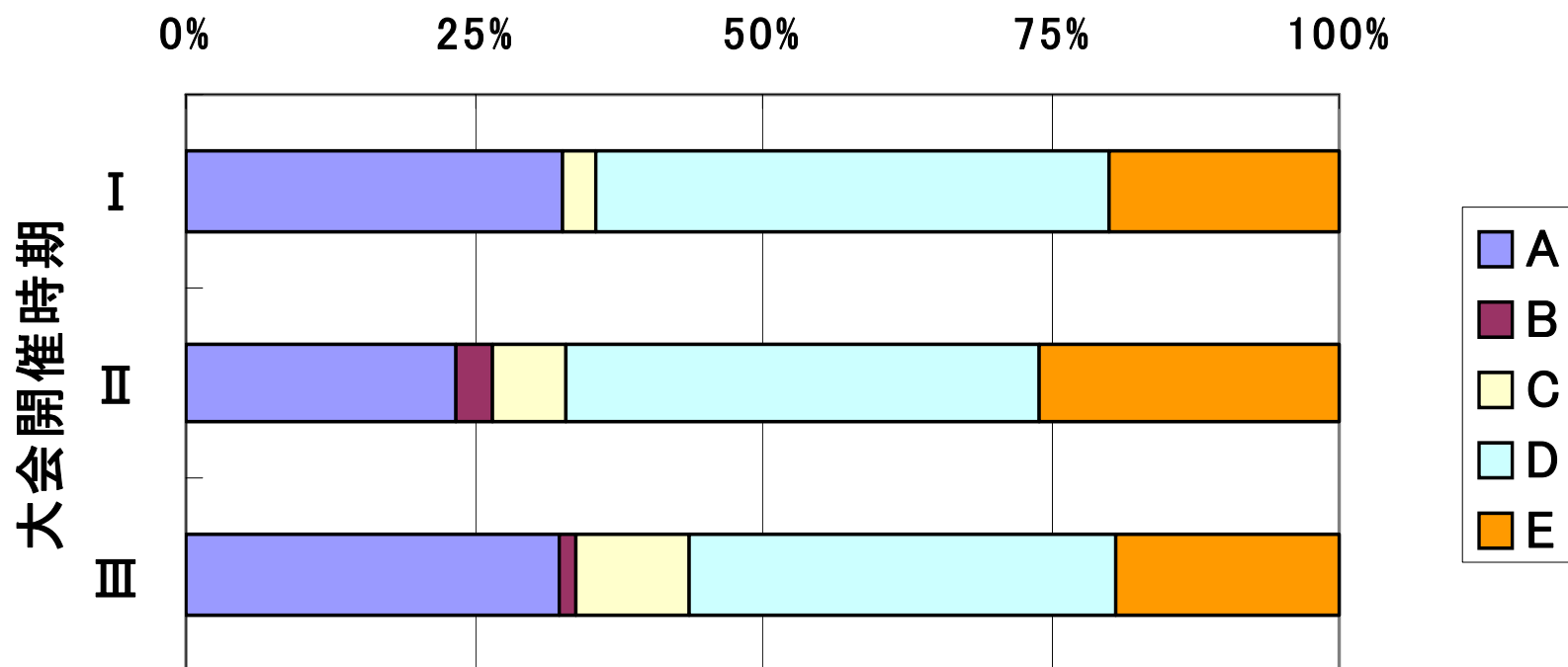
- 01.医図
- 02.歯図
- 03.看護
- 04.薬図
- 05.病図
- 06.大図・学図
- 07.公図
- 08.教員・学生
- 09.企業
- 10.その他

# 職種別のテーマ分類内訳

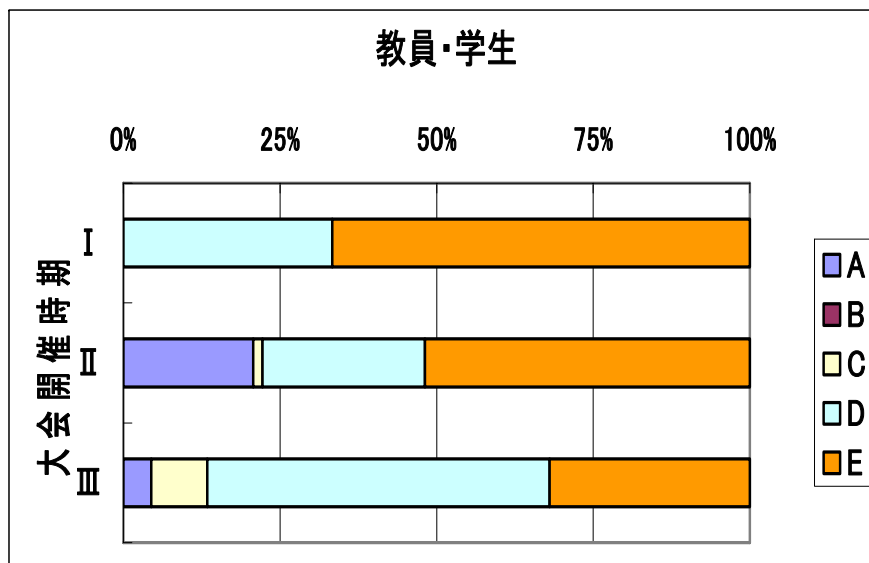
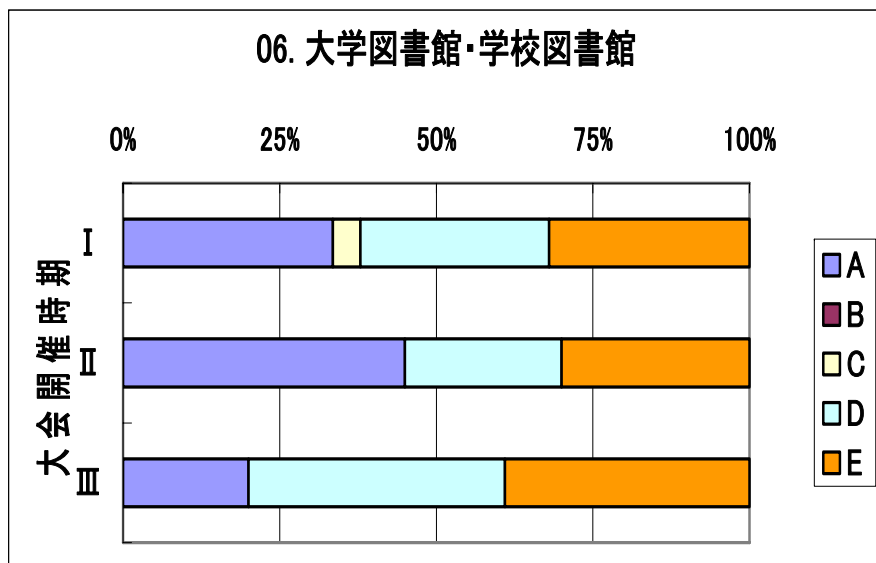
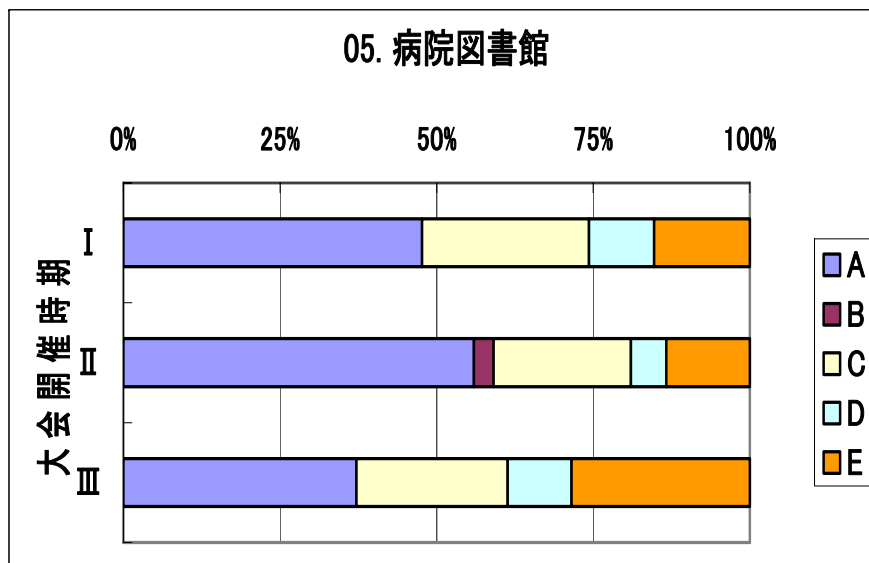
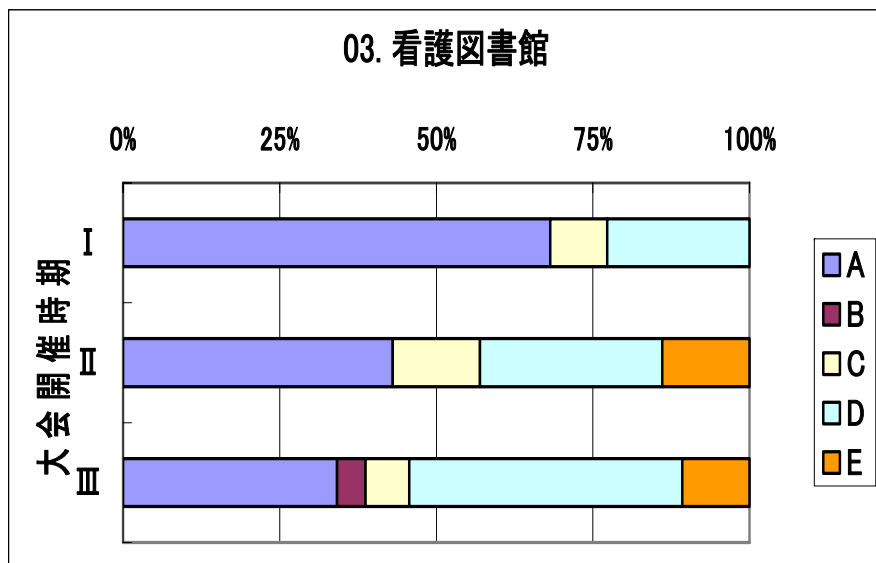


# 職種別に見たテーマの経時変化 (1)

## 01. 医学図書館



# 職種別に見たテーマの経時変化 (2)



# 職種別に見た発表テーマのまとめ

- 全期間、全職種でのテーマ分類大項目別の比率は、 $A:B:C:D:E=33:4:10:31:22$ 。
- これに比べて**医図**はD、**大図・学図**はE、**教員・学生**はDとE、**企業**はBとDが高い。当然ながら、**教員・学生**と**企業**ではAはほとんどない。
- **医図**の時期別分布は比較的安定しているが、**大図・学図**はAが減ってDが増え、**教員・学生**はDが減ってEが増える傾向。**企業**ではDの割合が増えつつある。
- 一方、**看図**、**薬図**、**病図**ではAの割合が相対的に高いが、いずれもⅢ期にはその割合が下がっている。
- **病図**は他に比べCが際だって高く、どの時期も発表の20%以上を占める。**看図**はDもある程度あり、その割合が増えつつある。